

すなお

令和2年6月号

おやのことば

身の内迫るから尋ねる。
尋ねる時の心というは、
いついつ生涯定めると言
うなれど、速やかなれば、
事情日が経ち、月が経ち、
つついっ忘れれる。



明治二八年五月二十八日

(下へつづく)

一度や二度は皆許したるなれど、難儀さそう不自由さそうという理は、親々の心には無いなれど、難儀するは可愛一条から。可愛という理から身上に悩み掛ける。よう聞き分け。なれど、だんだん天の理に迫れば、どうもならんようになる。一時定めたと言うたら、何年経っても変わらんのが生涯と言う。人が知らんと思うても、めんめんの心で夜々思やんすれば、千里離れても思やんは付くやろう。

会 長

親神様の大きな親心が分かるおさしづだと思えます。世間でも「困った時の神頼み」と言います。親神様は私達人間の親ですから、子供である人間から頼まれたら、分かったと言って御守護下さいます。ただ、これは先にご褒美を頂いたのであつて時間をかけて御恩返しをさせて頂かねばなりません。例えば「足をケガしたから車に乗せてください。お金は後で払います。」と言い降りたらそのまま居なくなつた。これは詐欺になるでしょう。親神様は大きな親心で見許して下さいますが、何度同じ事は通じない。それも子供思ひ上からのお知らせということです。大きすぎて分からなくなつてしまいますが、御恩をしっかりと感じ返す道を歩ませて頂きましょう。



心を神様の方へ

松浦ひろみ

コロナで、緊急事態宣言が出て、子供達は、3月4日から学校は休みになり、長い春休みになりました。宿題は出てるものの、体育館、グラウンドが使えなくなり、スポーツが出来なくなりました。

でも、家は田舎なのでお陰で、家の外で思いっきり遊ぶ事が出来る場所に居ます。都会の人や、家の中で子供を遊ばせる事が大変な方も多い中、本当にありがたい場所に住まわせてもらっています。

そんな中、4月、5月の月次祭は、役員だけでつとめさせていただきます。と、会長様から、連絡がありました。では！私は迷わず家で教会の時間に合わせて、座りつとめ、ておどりを子供と一緒につとめさせていただきました。教会に集まれなくても、心をしっかり神様の方へつなげば、又皆んなで一緒におつとめが出来る日が来ると思います。

いままで、何もかも当たり前のように出来ていた日々、コロナを通して、改めていままでの事の有り難さを、感じる事ができました。今後も、どのような日が来るか分かりませんが、何かあれば、一日何度でも、おつとめをつとめさせて頂き、自分自身の心が神様からはなれるとこがないようにしたいと思います。



少ない所で神名流し

田中道則

コロナ以前は週に数回、市役所やドンドビ前の中心街で神名流しをしていましたが、今は人通りの少ない所でさせてもらっています。マスク無しでかなり大きな声で12下りを歌うので市街は避けなければなりません。たまには違う場所でするのも気分が変わっていいです。いつも見ていた人達は最近天理の兄ちゃん歩いてないなと思っているかもしれません。

仕事にしても生活でも以前と同じ事が出来なくなりました。しかし、今は休憩ではなくまた元の生活が出来るようになった時の為に力をつけておこうと思います。「節から芽を出す」信仰をしていきたいです。



朝起き

椿 信代

「朝起き・正直・働き」と聞かせていただきますが、私は朝起きることがすごく苦手な人間でした。教会にいた頃は、よく朝づとめ中にウトウトしては会長さんに叱られ、一人暮らしを始めてもなかなか朝起きが身につかず、最近まで寝坊でギリギリの電車に飛び乗ったりしていました。

どうにかせねばと思いながら4月に引越しをして、夫婦2人での生活が始まりました。すると、夫が1時間早い就業時間のため強制的に7時半には起きるようになったのです。最初は大変でしたが、朝の目覚ましが鳴ったらすぐにカーテンを開けて太陽の光を浴びるというルーティンを意識していたところ、たった2ヶ月程で朝起きが苦痛ではなくなっていました。

今では目覚ましが鳴る前に目が覚めることもあり、いい癖が身についてきたかもと嬉しくなります。

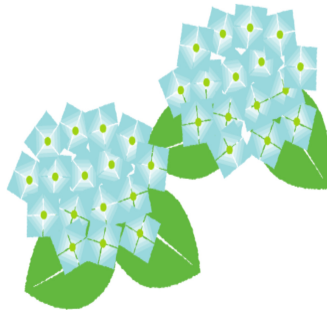
一日の始まりは朝起きから。元気に過ごしていくためにこの先も続けていきたいです。

教会ニュース

●瀬戸路分教会のホームページを作成しました。<https://www.tenrikyo-setoji.net> です。そして、「すなお」もネットで閲覧していただけます。現在は紙で印刷をして配布していますが、ホームページにて閲覧するということで連絡をいただければ紙での配布を控えます。

●今月の本部月次祭は参拝を控えて下さい、との連絡がありました。これに倣い大教会もおつとめ奉仕者のみでの月次祭になっています。今しばらく参拝を控えて頂きますようお願い致します。

●当教会においては、今月より予防対策をしながら信者さんと共に月次祭をつとめたいと思います。まだ、直会は形を変えてになりますが順次、元の形に戻せる所は戻しながらつとめたいと思います。



すなお (立教183年6月号)

通 卷	No.719
発行所	天理教瀬戸路分教会
	794-0007 今治市近見町4-5-10
	 0898-23-5004
	FAX 0898-23-5123
	発 行 日 2020.6.16
責任者	二 宮 英 治